

## 安川太一氏文書概要

- 1: 文書群番号 082005
- 2: 文書群名 安川太一氏文書
- 3: 出所 安川太一家
- 4: 家業・役職等 近代：竹商
- 5: 地名 摂津国川辺郡尼崎築地町／兵庫県川辺郡尼崎町ノ内尼崎町／尼崎市築地本町
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼崎町／尼崎市
- 7: 歴史  
安川家は竹商を営み、屋号を「竹八」と称した。安川家先祖竹屋八右衛門が文政8年(1825)に尼崎へ来て築地町に居住した。したがって竹商を始めたのもこのころからと考えられる。  
築地町は近世以来の尼崎町の町名。尼崎城地南端を通過していた中国街道を城の南側の小島と葭島に付け替える工事を行い、承応元年(1652)に築地町が完成した。北の浜筋には材木屋がならび、南の大浜地先は網干し場で近くには漁師が集住していたと推測される。「築地町式目帳」(『尼崎市史』第5巻)には明和6年(1769)の惣町間口1,546.303間とある。  
旧城下町の町並みをもっともよく今に伝えていたが、阪神・淡路大震災時に液状化現象が発生し、大きな被害が出た地域である。
- 8: 伝来 平成7年(1995)9月、安川氏より寄贈。
- 9: 史料入手先 安川太一氏(原蔵者)
- 10: 点数 67点(目録件数67件)
- 11: 年代 明治7年(1874)～昭和17年(1942)
- 12: 構造と内容 本文書群は①家業関係、②農業経営、③安川家の私的文書からなるが、ほとんどが①で占められている。①は竹商いの取引帳簿類であるが、明治33～36年(1900～1903)「売掛代金取まとめ帳」の中には安川家先祖竹屋八右衛門の略歴書付がある。②は芋畑経営、③は出入り商人の通い帳などがある。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 中村由佳